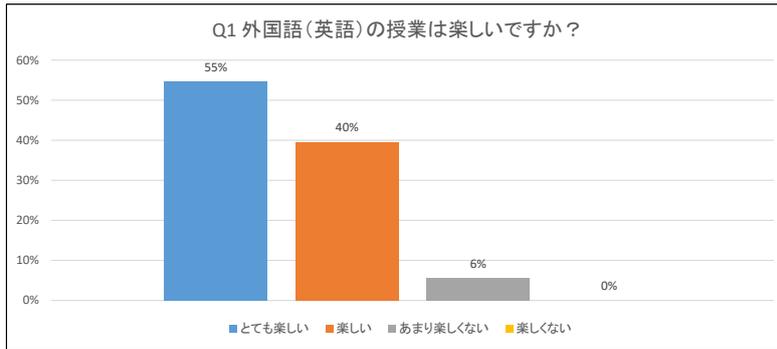
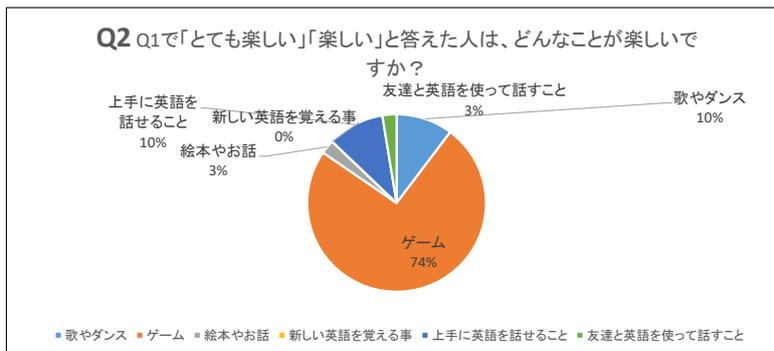


## 令和5年度外国語(英語)の授業に関する児童用アンケート調査結果の分析・考察(海東小)



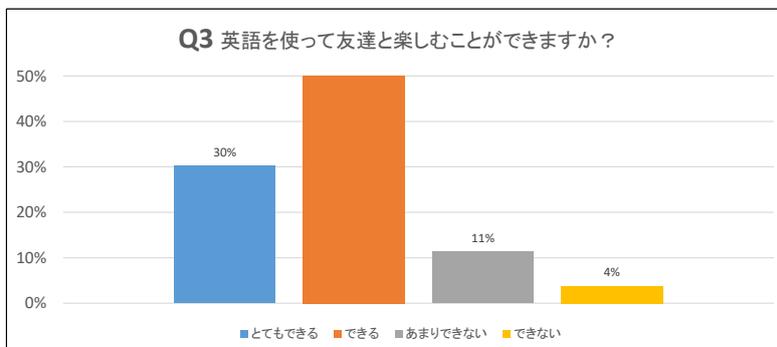
### 【Q1について】

ほとんどの児童が英語の授業を楽しんでいると感じており、英語を使って会話をしたり、活動したりするのを楽しんでいることがわかる。「外国語(英語)の授業は楽しい」と感じることで学びに主体性が出てくる。今後も楽しいと思える授業づくりを心がけていきたい。



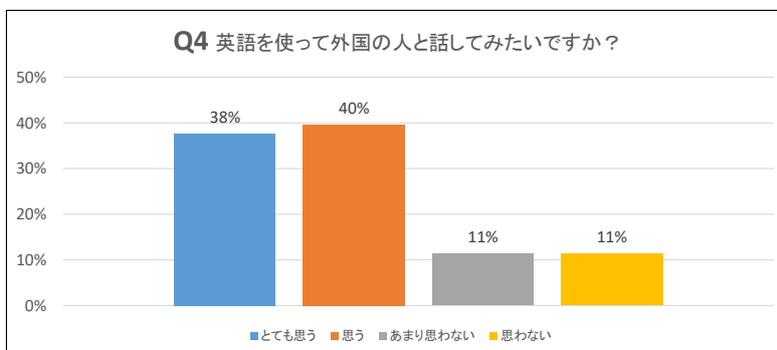
### 【Q2について】

7割の児童がゲームと答えており、ゲームを楽しむ中で身に付けるべき単語や文法を習得している。児童が楽しいと思える活動の中に、学習すべき内容を組み込んでいくことが今後も大切である。



### 【Q3について】

多くの児童が、「英語を使って友達と楽しむことができます」と回答している。その一方で、授業中、友だちに正しく話せているのか自信がなく、少し消極的になる場面も見られる。「英語を正しく使おう」と意識し過ぎず、「とにかく話してみることに」重点を置いた授業づくりを行っていく。



### 【Q4について】

多くの児童が「英語を使って外国の人と話してみたい」と考えている。しかし、ALT以外と話した経験が少ないこともあるので、ALT以外の方と話す経験を味わうことで、「もっと話したい!」と感じる児童がさらに増えると考えられる。

### 【保護者・学校関係者からの意見・要望等】

- ・伸び伸びと英語を学んでほしい。
- ・相手を理解しようとする姿勢を大事にしてほしい。
- ・子どもたちが大人になればもっとグローバルな社会になっているので海外の人と共に過ごしていけるようになってほしい、など。

### 【考察・今後の展望等】

「外国語(英語)の授業は楽しい」と感じている児童が多いので、その楽しいと思える授業を今後も続けていきたい。英語を正しく使うというよりは、相手に伝えようとする姿勢を大切に、伸ばしていくことが大切だと考える。また、ALT以外の外国の方とも話す機会を作り、「自分の英語が通じた」という喜びを味わわせていきたいと考える。